

# 「国土特性としての湧水環境の保全 : 郷土力の育成から」

平成25年2月7日(木) 15:00~16:30

於: 文京キャンパス アカデミーホール

環境ISOの取り組みの一環として、環境問題、環境政策、環境会計及び環境ISO取得効果、法規制などに関し、より一層の理解を深めていただくため、毎年環境ISOトップセミナーを開催しております。

今年度は大野市本願清水イトヨの里より森館長をお招きし、充実した内容で講演していただきます。一般職員及び学生のみならず是非ご参加ください。ご参加いただける方は、お手数ですが事前下記お問い合わせ先までご連絡ください。

## プログラム

## program

15:00	開場	
15:00-15:10	開会挨拶	福井大学長 福田 優
15:10-16:10	講演	「国土特性としての湧水環境の保全：郷土力の育成から」 森 誠一氏
16:10-16:20	質疑応答	
16:20-16:30	閉会挨拶	福井大学工学部教授 福原 輝幸
*司会 福井大学 工学部 教授 福原 輝幸		

## 講演者プロフィール

## profile

もり せいいち  
森 誠一 / 大野市本願清水イトヨの里 館長

三重県出身。岐阜経済大学教授および地域連携推進センター環境グループリーダー。理学博士(京都大学)。専門は進化生態学、社会行動学、保全生態学。大野市本願清水イトヨの里 館長。国土交通大学校など講師を兼ねる。第12回生態学琵琶湖賞受賞。

日本魚類学会外来魚検討部会長および評議員、応用生態工学会編集長、生き物文化誌学会理事、日本魚類学会評議員・外来魚検討部会長、淡水魚保全研究会事務局長。国土交通省(河川整備基本方針小委員会など)、農水省(農村環境整備事業委員会など)、環境省、文化庁天然記念物委員、福井県および愛知県文化財審議員などを務める。

主な著書:「トゲウオのいる川」(中公新書)、「淡水生物の保全生態学」、「魚から見た水環境」、「環境保全学の理論と実践I~IV」(信山社サイテック)、「トゲウオ、出会いのエソロジー」(地人書館)、「トゲウオの自然史」(北海道大学図書刊行会)、「希少淡水魚の現在と未来」(信山社)、「天恵と天災の文化誌」(東北出版企画)、「適応放散の生態学」(京都大学学術出版会、翻訳)など。



※当日は松岡・文京キャンパス間バス(公用車)の運行を予定しております。  
<行き>松岡発 14:15 <帰り>文京発 16:35

—お問い合わせ先—(文京キャンパス)

財務部環境整備課環境ISO担当(平田、齊藤) 内線: 2096、2458  
isofukui@ad.u-fukui.ac.jp